

# 北條 功教授略歴ならびに著作目録

## 略 歴

東京市神田区（現、千代田区）生まれ、神田区立淡路小学校、東京府立第一中学校、第一高等学校文科乙類、東京大学経済学部経済学科卒業。  
この間1943年12月より1945年9月まで兵役（復員時陸軍少尉）。

- |         |  |
|---------|--|
| 1950年4月 | 東京大学特別研究生。（55年3月終了）                    |
| 1955年4月 | 学習院大学政経学部専任講師（一般経済史担当）。                |
| 10月     | 同助教授。                                  |
| 1961年4月 | 同教授。                                   |
| 1964年4月 | 経済学部創設に伴い同学部教授。                        |
| 1969年3月 | 在外研究、主としてドイツのミュンヘン。（1970年12月まで）        |
| 1974年4月 | 経済学科主任（1975年3月まで）                      |
| 1975年4月 | 経済学部長（1977年3月まで）                       |
| 1979年4月 | 大学院経済学研究科教授を兼ね今日に至る。（西洋経済史・特殊研究及び演習担当） |
| 1987年4月 | 経済学部長（1989年3月まで）                       |
| ”       | 大学院経済研究科長（1989年3月まで）                   |
| ”       | 学習院大学経済学部経済経営研究所長（1988年3月まで）           |
| 1993年3月 | 停年退職                                   |

### 〔学会及び社会における活動〕

- |         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 1950年4月 | 土地制度史学会幹事。                            |
| 1953年4月 | 土地制度史学会学会誌『土地制度史学』編集委員を兼ねる（1955年3月まで） |
| 1955年4月 | 土地制度史学会評議員、今日に至る。                     |

- 1955年1月 社会経済史学会幹事，学会誌「社会経済史学」編集委員を兼ねる  
（1968年12月まで）
- 1969年1月 社会経済史学会理事（1988年1月まで）
- 1981年1月 文部省学術審議委員（1983年1月まで）
- ” 日本経済学会連合評議員（1982年12月まで）
- 1988年1月 社会経済史学会顧問，今日に至る。

[非常勤講師]

- 1960年4月 東京大学農学部（一般経済史担当）（1968年3月まで）
- 1964年4月 立教大学文学部（ドイツ経済史担当）
- 1965年4月 青山学院大学文学部（ドイツ史特講担当）
- 1966年4月 立教大学大学院（ドイツ史特講担当）
- 1969年2月 新潟大学（経営史担当）（集中講義）
- 1971年4月 東京大学農学部（一般経済史担当）
- ” お茶の水女子大学文教育学部（一般経済史担当）（1975年3月まで）
- ” 日本女子大学家政経済・文学部（一般経済史担当）（1989年3月まで）
- 1974年4月 立教大学大学院経済学研究科（ドイツ経済史特講担当）

## 著書・論文

- 1950年 9月 プロシア「農民解放」の前提『高橋幸八郎編 近代資本主義の成立』 東大出版会
- 1952年10月 東ドイツのエンケル経営『大塚久雄編 近代の産業』 毎日新聞社
- 1954年 8月 いわゆるプロシア絶対王政の「農民保護」『史学雑誌』第63編第8号 山川出版社
- 1954年10月 東ドイツにおける十八世紀後半の農業上の諸改革『土地制度史学』第2号 土地制度史学会
- 1955年2,7月 十八世紀後半の東ドイツにおける「農業革命」の特質(一)(二)『東京大学経済学論集』 東京大学経済学会
- 1955年12月 「農民保護」と「農民解放」『学習院大学政経学部年報』第3巻 学習院大学政経学会
- 1956年 9月 いわゆる「プロシア型」の歴史的構造『山田盛太郎編 変革期における地代範疇』 岩波書店
- 1958年 7月 近代資本主義の形成『都留等編 経済学入門』 東京出版
- 1959年 3月 啓蒙主義への対応—ヨーロッパにおける後進諸地域『金子・大塚編 講座近代思想史Ⅳ』 弘文堂
- 1960年 9月 東ドイツの「農民解放」『大塚・高橋・松田編 西洋経済史講座Ⅳ』 岩波書店
- 1961年 1月 プロシア「農民解放」期における共同地をめぐる諸問題—特にシュレーゲンを中心として—『増田・小松・高村・矢口編 社会経済史体系Ⅶ』 弘文堂
- 1962年 6月 十八世紀後半の東ドイツにおける「農業革命」の特質『大塚・入交編 経済史学論集』 河出書房新社
- 1963年 9月 ドイツ産業革命の前提—特に鉄道建設を中心として—『歴史学研究第280号』 歴史学研究会
- 1963年10月 『入会地の史的形態』 宋文館
- 1964年 3月 ドイツにおける鉄道建設と「産業革命」『学習院大学政経学部年報』第9巻 学習院大学政経学会

- 1964年12月 保護主義経済政策の展開—プロシア絶対王政の経済政策『山中・豊崎編  
経済政策講座2』 有斐閣
- 1965年7月 ドイツ産業革命と鉄道建設『高橋編 産業革命の研究』 岩波書店
- 1967年4月 第二次大戦後の東ドイツにおける土地改革—プロシア型近代化の帰結—  
『土地制度史学』第35号 土地制度史学会
- 1968年10月 ワイマル期のドイツにおける国内植民『川島・松田編 国民経済の諸類  
型』 岩波書店
- 1974年3月 いわゆる「レンテンマルクの奇蹟」—第1時大戦後のマルクの崩壊とその  
再建過程に露呈されたワイマル共和国の構造的特質—(一)『学習院大学  
経済論集』第24号 学習院大学経済学会
- 1976年3月 両大戦間の社会と経済—特にファシズムを中心として—『社会経済史学』  
第41巻6号
- 1979年3月 第一次大戦後のドイツにおけるマルクの崩壊『学習院大学経済学論集』第  
37号 学習院大学経済学会
- 1985年3月 'SOCIO-ECONOMIC HISTORY SOCIETY' "Information Bulletin of The  
Union of National Economic Associations in Japan"
- 1988年3月 第一次大戦後のドイツにおけるマルクの再建—いわゆるレンテンマルク  
の奇蹟—『学習院大学経済経営研究所年報』第1巻